

## 令和元年度 補助金等見直しチェックシートの提出後の報告内容

R1. 8. 30

## ◆公益性・公平性・有効性の評価

公益性が「低い」と答えたもの 2件 (1.4%)  
「やや低い」と答えたもの 8件 (5.6%)  
公平性が「やや低い」と答えたもの 7件 (4.9%)  
有効性が「やや低い」と答えたもの 8件 (5.6%)  
であった。

## ◆今後の方向性について

現行のまま継続	113件	(78.5%)
見直した上で継続	24件	(16.7%)
廃止を検討している	3件	(2.0%)
その他	4件	(2.8%)

令和2年度 補助金等見直しチェックシートの提出後の報告内容

R2.8.19

◆補助金額の適正化について

適正である	と答えたもの	140件 (95.3%)
過多である	と答えたもの	3件 (2.0%)
過少である	と答えたもの	4件 (2.7%)

◆公益性・公平性・有効性の評価

「高い」・「やや高い」・「やや低い」・「低い」から選択

公益性が「やや低い」と答えたもの	5件 (3.4%)
公平性が「やや低い」と答えたもの	8件 (5.4%)
有効性が「やや低い」と答えたもの	4件 (2.7%)

であった。また、「低い」と答えたものはいずれも0件であった。

◆今後の方向性について

現行のまま継続	と答えたもの	117件 (79.6%)
見直した上で継続	と答えたもの	22件 (15.0%)
廃止を検討している	と答えたもの	0件 (0.0%)
その他	と答えたもの	8件 (5.4%)

令和4年度 補助金等見直しチェックシートの提出後の報告内容

R4. 8. 26

◆補助金額の適正化について

適正である	と答えたもの	139件 (95.9%)
過多である	と答えたもの	2件 (1.4%)
過少である	と答えたもの	3件 (2.1%)
判断できない (※選択肢にはない)		1件 (0.7%)

◆公益性・公平性・有効性の評価

「高い」・「やや高い」・「やや低い」・「低い」から選択

公益性が「やや低い」と答えたもの 17件 (11.7%)

「低い」と答えたもの 1件 (0.7%)

公平性が「やや低い」と答えたもの 6件 (4.1%)

「低い」と答えたもの 1件 (0.7%)

有効性が「やや低い」と答えたもの 7件 (4.8%)

◆今後の方向性について

現行のまま継続	と答えたもの	105件 (72.4%)
見直した上で継続	と答えたもの	34件 (23.4%)
廃止を検討している	と答えたもの	4件 (2.8%)
その他	と答えたもの	2件 (1.4%)

令和5年度 補助金等見直しチェックシートの提出後の報告内容

R5.9.5

◆補助金額の適正化について

適正である	と答えたもの	140件 (91.5%)
過多である	と答えたもの	4件 (2.6%)
過少である	と答えたもの	9件 (5.9%)
判断できない (※選択肢にはない)		0件 (0.0%)

◆公益性・公平性・有効性の評価

「高い」・「やや高い」・「やや低い」・「低い」から選択

公益性が「やや低い」と答えたもの 17件 (11.1%)

「低い」と答えたもの 2件 (1.3%)

公平性が「やや低い」と答えたもの 5件 (3.3%)

「低い」と答えたもの 1件 (0.7%)

有効性が「やや低い」と答えたもの 7件 (4.6%)

「低い」と答えたもの 1件 (0.7%)

◆今後の方向性について

現行のまま継続 と答えたもの 117件 (76.5%)

見直した上で継続 と答えたもの 28件 (18.3%)

廃止を検討している と答えたもの 3件 (2.0%)

その他 と答えたもの 5件 (3.3%)

(実線四角囲み部分に該当する補助金)

令和元年～5年の間(令和3年度除く)に、「補助額が過多」、「公益性等が低い」、「廃止を検討している」、と担当課が判断した補助金のうち、廃止された補助金あるいは令和7年度も継続しているものは以下のとおり。

★廃止済

【超小型モビリティ運行事業補助金】

【家庭教育学級事業補助金】

【檀原市学童野球選抜大会事業補助金】

【幼児2人同乗用自転車購入費助成金】

【進路対策費補助金】

★令和7年度継続中

【檀原市骨髄移植ドナー支援事業助成金】

【地域公共交通バリア解消促進等事業補助金】

【檀原音楽協会育成補助金】

【檀原市文化協会育成補助金】

【檀原市レクリエーション協会育成補助金】

【各種体育大会等参加補助金】

【檀原市花いっぱい運動推進事業補助金】

【学童野球大会事業補助金】

【子育て支援事業補助金】

【観光プロモーション事業補助金(さらら姫)】

【市遺族会補助金】

- ・廃止となっているものは、明らかに需要がなくなったものが多い。
- ・令和7年度継続のものは、まずは担当課で廃止等の検討をしたが、予算査定等を経て、最終的に存続したものが多い。ただし、補助金過多については、見直しがされている。
- ・「現行のまま継続」(点線四角囲み部分)を含む全ての補助金に対して、令和3年度に聖域なき見直しを図ったが、それ以外の年度は、財政課からの積極的な見直しはできていない。